

ひがしあい 議会だより

2024 No.317
10
月号

奈良本を元気にする100人の会

12ページにて紹介

- 令和5年度決算審査・・・・・・・・・・2～3
保健師確保に向けた取り組み・・・・・・・・4～6
一般質問・・・・・・・・・・8～11
かがやくまちのひと・・・・・・・・・・12



議会HP

決算審査
特別委員会

全会一致で決算を認定 事業の執行状況と適

第3回定例会で提出された令和5年度一般会計・特別会計の決算は、議会付託し、4日間にわたり審査した結果、以下の意見を付し決算を認定しました。

切な運営をチェック

選出の監査委員を除く11名の議員で構成する決算審査特別委員会に



提言1 町民がいつまでも元気でいられる取り組みを



町の「お達者年齢」は男性73.8歳、女性81.7歳と県平均の男性80.1歳、女性84.3歳より低く、県下最下位である。改善に向けた地域での活動を促進されたい。

※お達者年齢：自立した生活ができる期間
平均寿命－不健康寿命(障がい・介護期間)＝お達者年齢

提言4 随意契約の根拠法令・理由を明確に

町の契約は競争入札が原則である。随意契約による場合は、根拠法令や随意契約とした理由、事業者の選定理由などを明確にしておくこと。

提言5 「主要施策の成果説明書」の見直し・充実を

決算審査の基礎資料となる「主要施策の成果説明書」が今年改訂されたが、事業実績の考察・総括等が不足していたので、更なる見直し・充実を求める。

提言2 地域包括支援センターの体制充実を

高齢者や認知症患者の増加により、自立した生活ができない町民が増えている。高齢者に身近に寄り添う専門家の結集等、地域包括支援センターの体制充実を図られたい。



提言3 計画的な道路改修を



町道の路面のひび割れなど、町道全般に経年劣化が進んでいる。道路の適正な管理と計画的に道路改修を行うよう強く求める。

決算審査報告書については東伊豆町ホームページにて掲載
<https://www.town.higashiizu.shizuoka.jp/>
ホーム＞町政・議会＞委員会の活動＞予算・決算審査特別委員会



決算審査報告書

会計別決算額

会 計 の 種 類		歳 入	歳 出
一 般 会 計		67億7,659万円	62億9,629万円
特 別 会 計	国民健康保険	17億6,001万円	17億4,551万円
	後期高齢者医療	2億1,779万円	2億1,619万円
	介護保険	14億 481万円	13億5,831万円
	稲取財産区	79万円	74万円
	風力発電事業	675万円	404万円
	幼児教育アドバイザー共同設置事業	218万円	214万円
		総収益	総費用
水 道 事 業		4億 236万円	3億8,506万円

第3回
定例会

一般会計補正予算等を可決

保健師確保に向けた取り組みを継続

定例会の
あらまし

令和6年第3回定例会を9月10日～27日までのほか、補正予算5件、条例改正6件を含む計21件が

18日間の日程で開催し、令和5年度一般会計歳入歳出決算認定提出され、審議の結果すべて原案どおり可決しました。

Pickup ① ワーキングホリデー支援補助

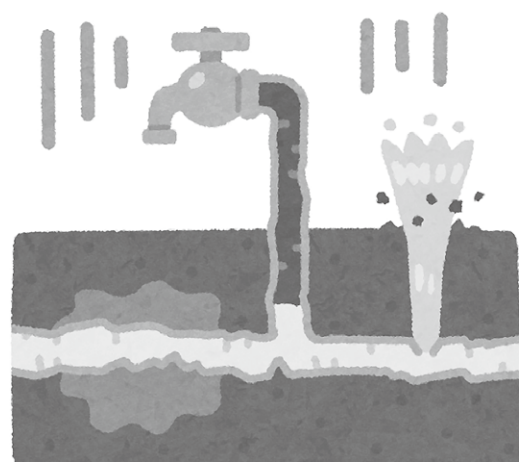
175万円



町外の看護学生や保健師に交通費や宿泊費を補助し、保健福祉センターで業務に携わりながら東伊豆町での暮らしを体験してもらい、保健師の確保に努めます。

Pickup ② 水道施設整備

2,250万円

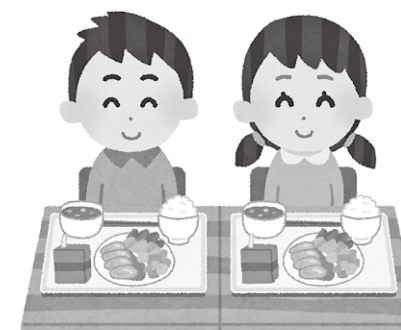


給水弁の取替工事や配水管の更新、水路改修などの工事をします。

Pickup ③ 給食費を応援

355万円

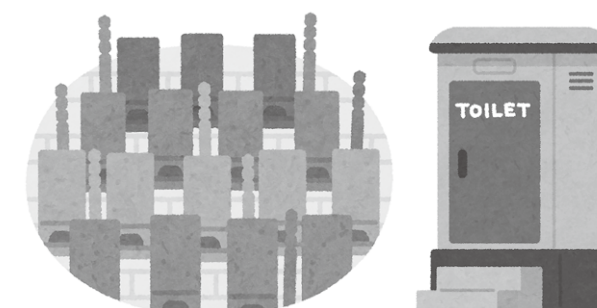
食材費高騰による給食費の値上げ分を町が負担し、保護者の負担軽減を図ります。



Pickup ④ 上野墓園維持管理

62万円

以前から要望があった、上野墓園に仮設トイレを設置します。



Pickup ⑤ 町長他、通勤手当支給



今まで町長、副町長及び教育長においては通勤手当が支給されていなかったが、東伊豆町職員の給与に関する条例の規定を準用して算出し、支給することにします。

Pickup ⑥ 消防団員に関する条例改正



条例中の「消防団」を「団員」に「定数280人」を「300人（内、機能別団員95人）」に改めることにより、機能別消防団員も公務災害補償を受けられるようにします。

第1回
臨時会

入湯税300円に

8月7日に臨時会を開催し、入湯税の引き上げや災害復旧における補正予算などを審議し可決しました。

Pickup

①入湯税引き上げ

令和7年3月1日から10年間、入湯税を1人1泊150円から300円とする。増えた財源は観光資源、町づくりなどに有効活用していきます。

Pickup

②道路災害復旧費4,000万円

町道湯ノ沢草崎線災害復旧工事

Pickup

③旧稲取幼稚園改修198万円

旧稲取幼稚園改修工事詳細設計業務委託料

議案名	採決結果	山田豪彦	鈴木伸和	楠山節雄	笠井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐衛	村木脩	内山慎一	定居利子	山田直志
条例改正													
議案第29号 税賦課徴収条例の一部改正	可決（10：1）	○	○	○	－	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第30号 国民健康保険条例の一部改正	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○

高齢者の生活の実情について



－文教厚生常任委員会－

文教厚生常任委員会では、8月27日に町内で介護事業に携わっている5人のケアマネジャーに参考人として、①高齢者の生活の実情②福祉や介護の課題について意見を伺いました。

第3回定例会の議案と各議員の賛否

○ 賛成 × 反対
※議長は採決に加わらない

議案名	採決結果	山田豪彦	鈴木伸和	楠山節雄	笠井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐衛	村木脩	内山慎一	定居利子	山田直志
条例改正													
議案第31号 特別職の職員で常勤の者の給料等に関する条例の一部改正	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号 国民健康保険条例の一部改正	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号 町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号 町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の全部改正	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号 町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部改正	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算													
議案第37号 令和6年度一般会計補正予算（第6号）	可決（10：1）	○	○	○	－	○	○	○	○	×	○	○	○
議案第38号 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号 令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号 令和6年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号 令和6年度水道事業会計補正予算（第2号）	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
決算審査													
議案第42号 令和5年度一般会計歳入歳出決算認定	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号 令和5年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号 令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号 令和5年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号 令和5年度稲取財産区特別会計歳入歳出決算認定	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号 令和5年度風力発電事業特別会計歳入歳出決算認定	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号 令和5年度幼児教育アドバイザー共同設置事業特別会計歳入歳出決算認定	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号 令和5年度水道事業会計決算認定	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案・議員発議													
意見書案第2号 地震財特法の延長に関する意見書	可決（11：0）	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号 適正な予算編成に努めることを求める決議	可決（10：1）	○	○	○	－	○	○	○	○	×	○	○	○



山田 直志 議員

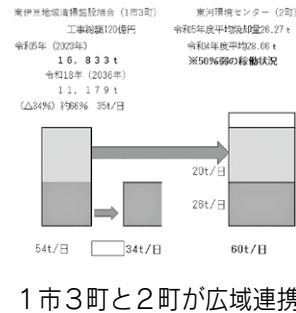


では、携を検討すべき

Q ごみ処理の広域連携を

A 河津町の考え方を踏まえ検討

Q 令和4・5年度のごみ焼却量及び1日の焼却量は。
A 令和4年度は8665tで1日あたり28・06t、5年度は8207tで1日あたり26・27tとなる。
Q 焼却炉の改修による起債総額と返済期間は。
A 起債は15億3千万円で、毎年1億5千万円強を令和16年までの15年間にわたり返済する。
Q 54tの焼却炉整備を計画している南伊豆地域清掃施設組合との広域連携を検討すべき



A ごみが減っていることは認識している。県の広域化マスタープランでも経済効率が良くとされているが、各々の施設更新時期のずれ等、集約化には課題もある。南伊豆地域清掃施設組合施設整備の進捗状況を見ながら、将来的にはより良い効率的なごみ処理のあり方を検討していきたい。
Q 60tの焼却炉で稼働率は50%を切っており余剰がある。南伊豆地域の計画でも54tで整備しても13年後には35tと過剰施設を抱えることになる。南伊豆地域のごみの一部をエコセンターで焼却し、当該施設の縮小と改修費への負担を求める事で効率的で無駄が少ないごみ焼却ができるか考えるが。
A 一緒に事業を行っている河津町の考え方も踏まえ検討を進める必要がある。



稲葉 義仁 議員



例えば地域移行の担い手となる各種団体にも様々な形態があること、

Q 部活動は現在でも全員参加が原則か

A 現在は部活にこだわらず何かしらの活動への参加を促している

A 例えば地域移行の担い手となる各種団体にも様々な形態があること、
Q 今ある環境の中で生徒達がどれだけ幅広く活動を選べるか、多少不便があったとしても選択肢を少しづつでも広げていく取り組みが重要と考えるが。
A 例え地域移行の担い手となる各種団体にも様々な形態があること、



楽しく環境を過ごせる生徒がいます

Q 部活動全般の現状と対応の方向は。
A 部活動数の減少が続く、団体競技ではかろうじて単独チームを維持している状況。チーム編成ができなくなった場合は、稲取と熱川で合同部活動を編成する予定。また、地域クラブ活動に関する意見交換の実施に向けて、協議会を設置する準備を進めているところである。
Q 今年ある環境の中で生徒達がどれだけ幅広く活動を選べるか、多少不便があったとしても選択肢を少しづつでも広げていく取り組みが重要と考えるが。
A 危険性は承知しており、警察への巡回依頼や学校支援本部実行委員の協力等、様々な手を尽くしながら、一方ではスクールバス運行の可能性についても検討を進めている。

第3回定例会 一般質問



一般質問

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明をもとめること。

楠山 節雄 議員
■町専門職員の待遇改善について
■渇水対策について
■農業支援について

山田 直志 議員
■地震に対する備えについて
■発災後の初動体制について
■ごみ処理の広域連携について

稲葉 義仁 議員
■学校教育環境の整備について

山田 豪彦 議員
■三十祭について

西塚 孝男 議員
■巨大地震に備えた災害対策について

須佐 衛 議員
■中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について
■南海トラフ地震臨時情報への対応と今後の取り組みについて
■ふるさと納税基金について

鈴木 伸和 議員
■大規模地震における建築物の耐震対策について
■人口減少問題の取り組みについて

東伊豆町議会 YouTube チャンネル

Q 専門職員の待遇改善は

A 人事院の規定から現在の給料表の適用になる



住民の健康増進に欠くことができない保健師

Q 専門職員を募集しても応募がない状況が続いていることへの認識は。
A 少子化や民間企業の採用が旺盛な中、ここ数年採用につながらない状況が続いている。定年延長により知識と経験が豊富な職員の配置が可能になったことや、即戦力の期待が持てる中途採用職員の確保も含め、複雑高度化する課題への対応力を強化する必要がある。また、既に実施済みの社会人採用に加えて専門職員では45歳以下となっている年齢要件の引き上げを強化する必要がある。
Q 行政職員に対する特別な手当ではない。しかしながら専門職員の確保は重要な課題であるため、就職先の一つとして選択いただけるよう、今実施しているワーキングホリデーの事業を確実に遂行し成果につなげていきたい。



楠山 節雄 議員

そのほかの質問

Q 渇水対策は
A 今年の降水量は特に少なくはないがリスク分散の意味も含め地下水の活用を図る

Q 農業支援は
A JAとも連携を図りながら総合的な対策を考える



須佐 衛 議員

Q 庁舎の移転、災害対策本部の設置場所は

A 有識者を交え全庁的な課題として検討する必要がある



高層旅館の受入体制や避難

応じたい。

稲取の池尻海岸や熱川海岸での遊泳はどのような判断がなされたか。

布することはできないか。

南海トラフ臨時情報（巨大地震注意）における町内の宿泊キャンセル数は。

を進化させたい。



大津波発生時に電源喪失の危険性が高い役場庁舎

路の確認、避難誘導の指示を行った。

そのほかの質問

Q 中小企業・小規模企業振興基本条例の制定は

A 使命感を持って進めていき

Q ふるさと納税基金を観光に

A 使えないか

Q どの分野にコストをかけるか

A バランスを考慮した慎重な検討が必要



鈴木 伸和 議員

Q 大規模地震における建築物の耐震対策は

A 8年度以降は何らかのスキームを考えその推進を継続



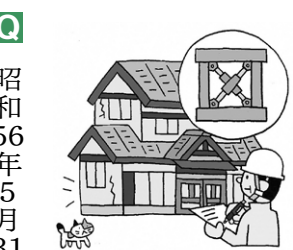
対象建築物の所有者に

緊急輸送ルートの沿線にある建築物25戸について耐震診断を実施。そのうち13戸が耐震性がないと診断された。

町としても何らかのスキームを考えてその推進を継続していききたい。

昭和56年5月31日以前に新築された住宅の総数は。

診断を受けられる県の制度が終了、町は引き続き実施する計画は。



耐震診断を

対象について静岡県から調査票を送付、無料の専門家の派遣や耐震化の意向について確認しながら耐震化を図っていただくようお願いをしている。所有者不明の建物はない。

そのほかの質問

Q 人口減少問題の取り組みは

A 人口を減らさない手立てと減ったとしても成り立つ体制づくりを意識。まちづくり総合指針にも反映させ、緩和・適応・全員参加のコンセプトを設定し乗り越えていききたい。

Q 三十祭の開催について町の考えは

A どうすれば実現できるか検討する



みんなで楽しく語り合おう

愛醸成を目的に実施する事例が散見される。また当町においても同窓会を促進して欲しい、連絡は取れるので協力したいといった提案もいただいている。担当課には検討の

東伊豆町フアンクラブ「うちうち」やLINE登録をしてもらったかどうか。

三十祭を開催して「地元っていいなあ」と改めて感じていただく事は良いことだと思う。他の自治体でも地元回帰や郷土愛醸成を目的に実施する事例が散見される。また当町においても同窓会を促進して欲しい、連絡は取れるので協力したいといった提案もいただいている。担当課には検討の

町が考える同窓会促進と商工会が考えている三十祭をどう連携していくかがポイント。いずれにしても対象者の考えや核となる幹事の実在について調査した上で、どんなサポートができるか検討したい。

Q 稲取地区に野生の猿が出没しているが

A 出没した範囲は把握している



どんつく通りに猿が出没



出没情報が来ているところは把握している。そういった情報からある程度の行動範囲は推測しており、通報を受けると職員が現地へ赴き対応するが、実際現地へ到着した際には既に姿が見えないという状況が多い。

係の者が花火やエアガンを使って追い払う等の対応を図っている。

最近、稲取地区に野生の猿が至近に出ているが、行動範囲を調べているか。

人への危害や農作物への被害はないのか。



山田 豪彦 議員

二十祭から10年後の節目を祝うだけでなく、ふるさと納税の活性化、人口減少、過疎化の糸口となる事が期待できると考えるが。

指示を出しているところ。

そのほかの質問

Q 海抜3m程度に建つ庁舎が対策本部として機能するか

A 私見ではあるが津波襲来時には機能を喪失する可能性は高いと考える



西塚 孝男 議員

そのほかの質問

Q 街路灯の補助金はどうなっているのか

A 96万円を元に商店会等に電気料金に応じて案分している

Q 稲取駅上の国道出口付近は草や枝木が生い茂っているが対策は

A 町としては県の担当課に写真を送り要望している

かがやく まちのひと

Vol.19

今回は早朝から開催されていた「奈良本を元気にする100人の会」主催の「夏休み座禅会」に伺ってきました。皆さんが楽しみながら地区を元気にする活動に頭が下がる取材でした



森田隆裕会長

「どんな方々で活動していますか。」

令和元年頃から、区の役員OBを中心に構成して設立しました。イベントを通じて、区民が出会いの機会を増やすことを目指して活動しています。

「今日は朝早くからお寺に集まっているところを取材させていただきまし

た。どんな活動ですか。」

4年前から「夏休み座禅会」を地区にある自性院で開いています。子どもから大人まで6時から約30分間、心が穏やかになるように座禅を組む会です。この日は10人位の



座禅会の様子

方に体験してもらいました。

「他にはどんなイベントを実施していますか。」

2月には約80本の河津桜が咲き誇る町立図書館下の駐車場で「ならもと桜まつり」を開催しています。奈良本商店会の豚

汁や甘酒の無料サービスもあり、300人ほどの区民がお花見を楽しんでくれています。地区内の桜の地図も作成しました。また、イベントではありませんが地区内の景観



お花見客がたくさん

整備もしています。伊豆の相模湾側の海沿いにある「東浦路」と呼ばれる古道があり、この奈良本区内にも残存していることから、後世にも残すために整備をしました。

今年の6月には台湾提灯でにぎわいを見せている熱川温泉橋のペンキ塗りをしました。朱色の欄干が提灯と相まって本当に綺麗でした。

「今後の展望は。」

この活動が長く続くように、緩やかに世代交代を目指していきたいです。



きれいになりました

議会広報編集委員会

委員長	栗原京子
副委員長	稲葉義仁
委員	山田豪彦
委員	鈴木伸和
委員	笠井政明
委員	山田直志

編集後記

本定例会は「南海トラフ地震臨時情報」が発令された後に開催されたこともあり、防災問題への質問が集中した。耐震化の向上・発令への対応・役場の機能・避難所の運営等に町長は自らの知見を踏まえ答弁していた。議会だよりの紙面やHPでの録画で議論の内容が伝わるだろうか。町民の命に関わる問題だけに町長には直接町民と話し合うことを求めたい。優れた意見でも、伝わらない・理解されなければ意味がない。リーダーとして命を守る行動に町民が立ち上がるための下働きが必要だと感じた。

(山田直)